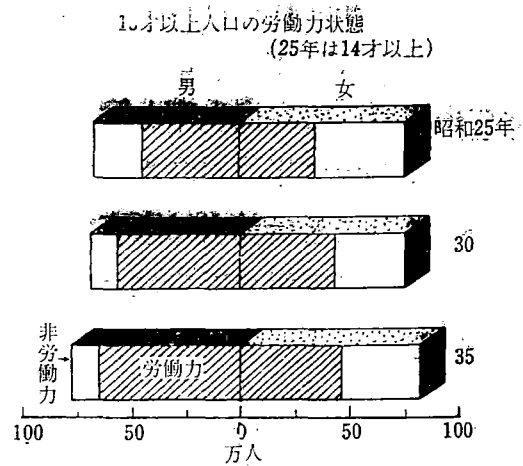


17. 労働力人口と年令階級別就業者数

生産年令人口（15才以上）のうち、非労働力人口（通学、家事、病人、老人）を差し引いたいわゆる経済活動に関係する人口を労働力人口（就業者+失業者）というが、本県は人口増加につれてその人口も次第にふくらみ昭和35年で111万人に達した。

生産年令人口を総人口に比較すると30年では66.4%であったが35年は69.6%とその割合は増加した。しかしこの増加傾向も最近の出生率の低下によって若年労働力人口が減少し昭和40年以降は全国的に減少してゆくことが年令別人口によって知ることができる。



各年10月1日現在

労働力状態	15才以上人口					
	総数		男		女	
	昭和30年	昭和35年	昭和30年	昭和35年	昭和30年	昭和35年
総数	1 484 189	1 605 815	698 267	772 387	765 922	833 428
労働力人口	1 015 206	1 112 084	584 775	649 687	430 431	462 397
就業者	1 002 170	1 105 510	575 537	645 267	426 633	460 243
完全失業者	13 036	6 574	9 238	4 420	3 798	2 154
非労働力人口	448 980	493 461	113 491	122 606	335 489	370 855
不詳	3	270	1	94	2	176

年令階級	15才以上就業者数 (昭和35年)				
	就業者			就業率(総人口に対する)%	
	総数	男	女	男	女
総数	1 105 510	645 267	460 243	83.5	55.2
15 ~ 19才	103 117	51 204	51 913	47.9	47.3
20 ~ 24	149 561	81 318	68 243	85.0	71.9
25 ~ 29	148 844	93 753	55 091	95.0	57.4
30 ~ 34	142 691	89 129	53 562	97.1	59.1
35 ~ 39	114 707	65 063	49 644	97.1	62.1
40 ~ 44	100 164	56 010	44 154	97.3	63.7
45 ~ 49	96 398	55 082	41 316	96.9	63.1
50 ~ 54	80 596	48 915	31 681	95.4	58.5
55 ~ 59	68 541	42 711	25 830	89.9	54.0
60 ~ 64	50 129	31 312	18 817	81.5	46.9
65才以上	50 762	30 770	19 992	49.9	23.4